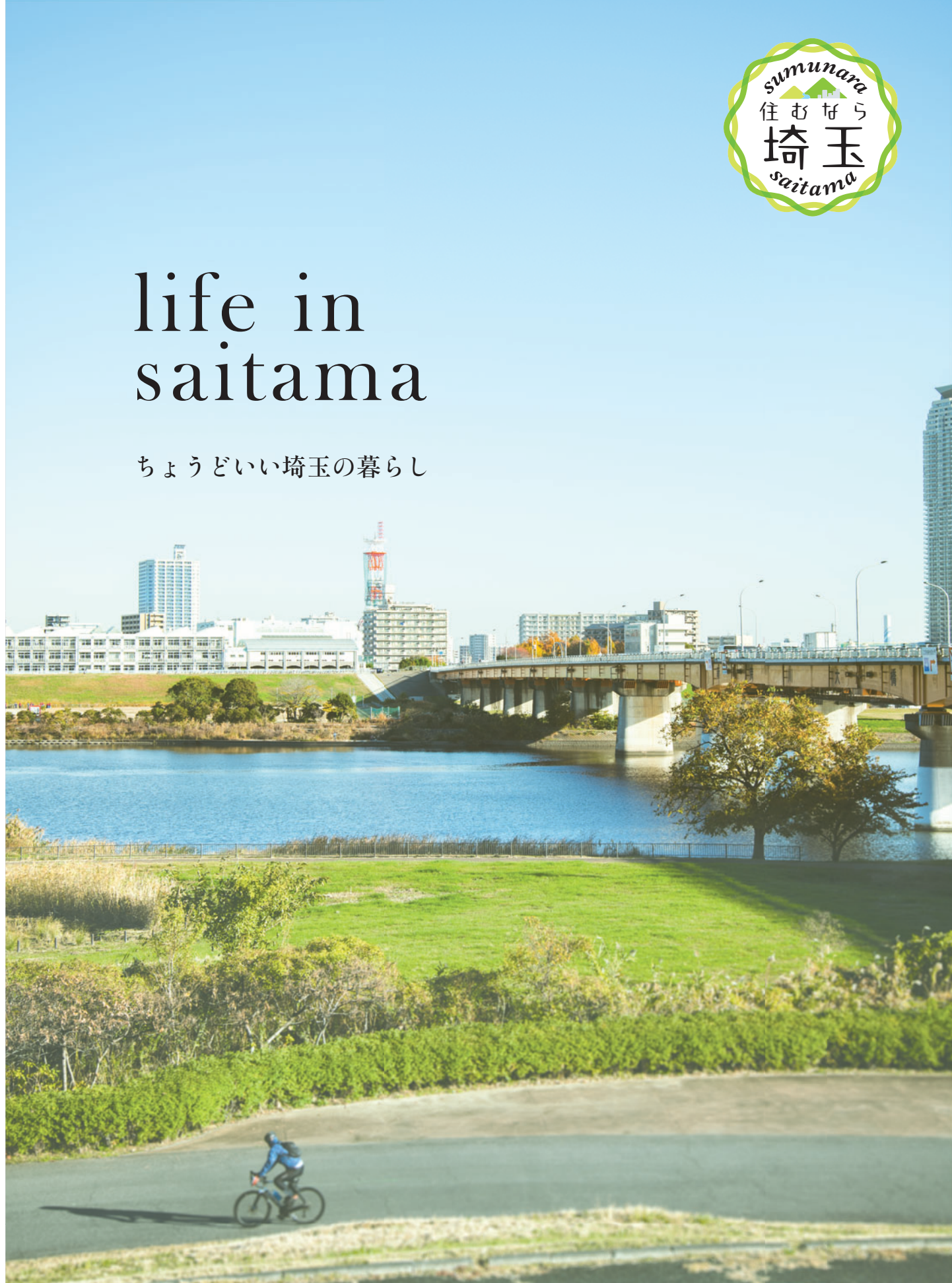




life in saitama

ちょうどいい埼玉の暮らし



life in saitama

ちょうどいい埼玉の暮らし

発行 埼玉県 企画財政部 地域政策課
さいたま市浦和区高砂 3-15-1 TEL 048-830-2773









- 6 埼玉県ってどんなところ？
データで見る埼玉県
- 8 埼玉県アクセスマップ
- 10 海はないけど
身近な自然が豊かな埼玉県
- 12 子育てするなら埼玉
- 13 教育環境も充実の埼玉県
- 14 埼玉に住む
ニア東京で自分らしく働く
- 15 伝統と歴史のある
地域のお祭り
- 16 もっと知ってほしい！
埼玉県ってこんなところ
- 18 移住者インタビュー
日々にゆとりを。
私たちが住みたい「このまち」
官代町 菊地さん／川越市 大治さん／
越生町 浅見さん
- 30 埼玉県エリア図鑑
- 36 移住までの“ステップ”
- 40 埼玉で働く
- 41 埼玉で起業
- 42 埼玉ではじめる農ある暮らし
- 44 地域おこし協力隊ってなんだろう？



企画・制作 埼玉県 地域政策課
編集・デザイン 株式会社櫻井印刷所
撮影 中村香奈子（スチール）
小松正樹（スチール、動画）
イラスト 上坂じゅりこ

埼玉県ってどんなところ？

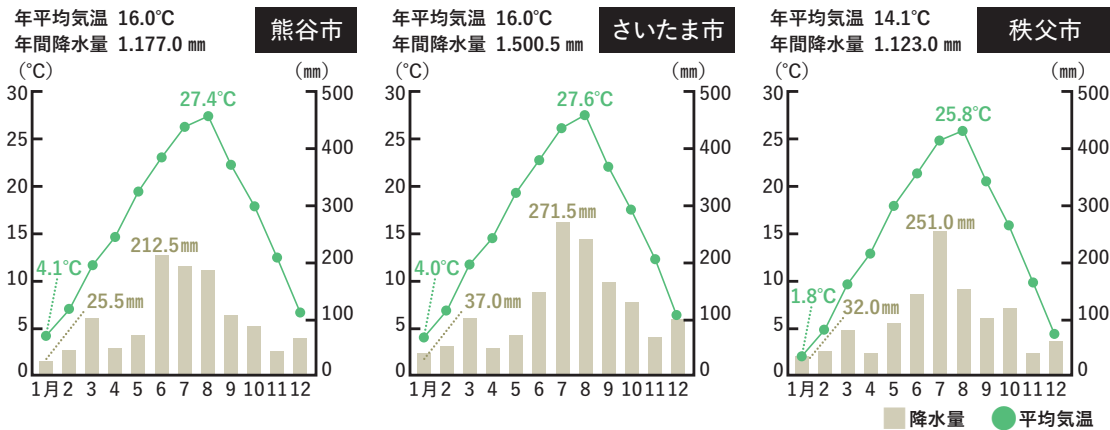
データでみる埼玉県

人口 7,344,765人
(令和2年国勢調査)

面積 3,797.75平方km
(令和4年全国都道府県市区町村別面積調)

気候の特徴

天気が良い、晴れた日が多く続きます。年間を通じておおむね穏やかな気候です。冬は北西の季節風が強く吹く日もありますが、自然にも恵まれているため四季折々の季節感があります。



快晴日数 No.1

平成21年～30年の快晴日数は567日で全国第1位に。平均気温は16°Cと温暖で、降水日数も全国で4番目に少なくとても過ごしやすい！



安心安全 No.1

防犯パトロールなどを行う自主防犯活動グループ「わがまち防犯隊」の団体数が5,965（令和4年末現在）で日本一！地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動などの防犯活動を行っています。

災害が少ない

土砂災害は15年間で全国最少。過去に起きた大きな地震100件のうち、県内が震央だったのは1件のみ。海もないから津波もありません。



県内の河川の占める面積

雄大な河川も美しい清流も多数ある「川の国 埼玉」。県土全体に占める河川面積の割合は3.9%で、全国第2位です。



市の数 No.1

埼玉県には市の数が40もあります。市町村を合計すると63あり全国3位です。多様性にあふれた埼玉県では希望にあった市町村がきっと見つかる！



アイスクリーム出荷額 No.1

デザートとして人気のアイスクリーム出荷額は埼玉県が一番です。ちなみに、あの国民の人気アイス「ガリガリくん」は埼玉県で作られています。



自転車保有率 No.1

人口100人あたり保有台数76台。自転車発祥の地、埼玉県は道が平坦で坂が少なく、自転車にピッタリ。車がなくても行動範囲が広がる！



子育て応援！ 県内18,000店以上で割引サービス

子育て世帯への割引サービス「パパ・ママ応援ショップ」は全国最大規模！→P12（子育てするなら埼玉）



column

“東京の北どなり”なのに家賃は6割！

生活する上で大きな割合を占めるのが住居費。2021年の民営賃貸住宅の家賃を比較すると、3.3㎡あたりの月額が東京は8,795円に対し、埼玉は5,315円と東京に比べて4割もお得という結果になっています。ゆとりのある暮らしをしたいという方にはぴったりです。



column

埼玉県民の“おおらかな”県民性

埼玉に関する多くの文献に見られる「おおむね平坦」という文字。これは埼玉県の地形についての表現なのですが、埼玉県民の気質では？と感じてしまうくらい両者は似ているところがあります。埼玉県民は県民意識が低いとか、特筆すべき特徴がないと言われがちですが、争い

ごとを好まずおおらかで、県外の方からは「おおらか」「のんき」「落ち着いている」などの印象を持たれることが多いようです。埼玉の寛容な県民性は、近年公開された映画「翔んで埼玉」でも様々なメディアに取り上げられるなど、大変話題となりました。

埼玉を知る

埼玉県アクセスマップ



埼玉を知る



電車のアクセス



海はないけど

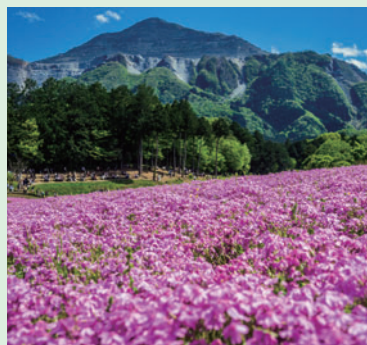
身近な自然が豊かな埼玉県

都会の利便性を備えながら、自然環境にも恵まれている埼玉県。気が向いたらすぐに行ける身近な自然スポットがたくさんあります。



山・自然

Mountain



武甲山ぶこうさん [秩父市・横瀬町]

標高1,304m、秩父盆地の南にそびえる秩父のシンボルともいえる名山。日本二百名山、および花の百名山に選定されています。山頂からの眺めは絶景。

天覧山てんらんざん [飯能市]

標高197m。頂上からは飯能市の街並や関東平野が一望できます。子供でも楽しめるハイキングコースがあり登山スポットとしても人気です。

さいたま緑の森博物館 [横瀬町]

狭山丘陵に残る武蔵野の里山自然そのものを展示物としたフィールドミュージアム。周辺にはトトコの森を巡る散策コースもあります。

埼玉県県民の森 [入間市]

丸山の北に広がる身近な自然に出会える森。森林の中を歩いていると山野草、花、樹木、動物たちの自然な姿に出会うことができます。

河川

River



飯能河原 [飯能市]

西武池袋線飯能駅から徒歩15分程の場所にある入間川の河川敷。深緑の木々と赤い割岩橋が映え、川遊びやBBQを楽しむことができます。

みなおやほなかわらの親鼻河原 [皆野町]

長瀬ライン下りで有名な荒川の河原。川遊びやBBQのほか、近くの清流三沢川では魚捕りが楽しめます。鉄橋を渡る列車の撮影スポットとしても人気。

都幾川ときがわ [ときがわ町]

越辺川の支流として、県西部のときがわ町、嵐山町、東松山市、川島町を通る一級河川。ときがわ町の「三波渓谷」は神秘的な景勝地として有名です。

公園

Park



国営武蔵丘陵森林公園 [滑川町・熊谷市]

明治100年記念に作られた全国初の国営公園。東京ドームの約65倍の敷地内には41もの自然沼が点在し、数多くの野鳥が生息しています。四季折々の植物も見どころです。

こども動物自然公園 [東松山市]

大自然の中にある動物園・自然公園。約160種類の動物がいてレッサーパンダ、コアラなどの人気動物やクオッカ、プーズーといった珍しい動物も。自然を満喫できるスポット。

岩槻城址公園 [さいたま市]

岩槻城の城跡を生かして整備された公園。自然林も多く森林浴が楽しめます。春には約600本の桜が咲き誇り桜の名所としても有名。テニスコートや野球場、遊具、噴水がある広場もあります。

羽生水郷公園 [羽生市]

国内ただ1ヶ所の「ムジナモ（食虫植物）自生地」を含んだ公園。園内の水族館「さいたま水族館」では荒川の上流から河口域までの様々な魚を見ることができます。

権現堂公園 [幸手市]

関東の桜の名所として有名な幸手権現堂桜堤があり、1kmにわたって咲き誇る約1000本の桜と、周辺の菜の花とのコントラストが見どころ。他にも四季折々の花が楽しめます。

column 自然災害も少ない埼玉県

埼玉県は災害が少ないという特徴があります。平成18年から令和4年3月までに人的被害を伴う地震は100件発生しましたが、このうち埼玉県を震央とするものは1件だけでした。また、過去15年間の崖崩れや地滑りなど土砂災害の発生件数は、全国で最も少なくなっています。

さらに、近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえ、流域のあらゆる関係者と協働して流域治水を進めています。住まい探しでは地域の災害リスクにもぜひ注目してみてください。

(出典：埼玉県企業立地ガイド)

埼玉を知る

Childcare

子育てするなら埼玉

埼玉県では、子育て家庭の交流や悩みを相談する場となる地域子育て支援拠点への支援に取り組んでいます。子育てに寄り添ったさまざまなサポートをご紹介します。



埼玉県 結婚・妊娠・出産・子育て
応援公式サイト

パパ・ママ応援ショップ

18歳に達して次の3月31日を迎えるまでの子供、または妊娠中の人がある家庭に配布している優待カード。協賛店で提示すると、割引などのサービスを受けられます。



全国最大規模の
店舗数なんぞって!



赤ちゃんの駅

「赤ちゃんの駅」は、誰でも自由におむつ替えや授乳ができるスペース。小さなお子さんがいる子育て家族も安心して外出できる環境づくりを進めています。



多様な保育で安心子育て

病児保育

子供が風邪などで保育所に登園できず自宅での保育も困難な場合、病院等において病気の児童を一時的に保育する他、保育中に体調不良になった児童への緊急対応を行っている施設を支援しています。

一時預かり

家庭において一時的に保育をすることが困難となった児童を預かる施設（保育所、認定こども園等）を支援しています。



病児保育



一時預かり

コバトンベビーギフト

本事業に参加している市町村に在住し、新しくお子様が生まれたご家庭へベビーギフトをお送りします。



赤ちゃんや小さい子供、そしてママに優しい街は暮らしやすいですね。

子育てには何かと必要なものが多く、いろいろお金がかかるので助かりました!

共働きの家庭では保育施設の充実が大事なポイント。安心して子育てができます。

利用者の声



Education

教育環境も充実の埼玉県

多種多様な学びの場や学力調査の実施など、教育環境が充実している埼玉県。家庭、地域の住民、大学、企業、NPOなど様々な主体が連携、協力して教育環境の向上に取り組んでいます。また都心へのアクセスが良いので、都内へ通学している学生が多いのも特徴です。

学びの場の選択

県内には多種多様な学校があり、私立学校も多くあります。加えて、都内へのアクセスの良さを生かして、都内の学校へ通学できるのも埼玉県の魅力です。

中学校 477校 高等学校 193校 大学 45校 短期大学 11校

文部科学省「学校基本統計（調査）」（令和4年5月1日）

埼玉県学力・学習状況調査

小・中学校等において県独自の学力・学習状況調査を実施しています。本調査では、子供たちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感することで、自信を深めていくことを大切にしています。

親子で楽しめる文化スポット

美術館や博物館なども充実しています。芸術だけでなく、古墳や鉄道など埼玉県ならではの珍しい博物館も。子供から大人まで楽しめる幅広いジャンルの文化施設がたくさんありますので、お休みの日は親子で足を運んでみてはいかがでしょうか？

埼玉県立近代美術館



撮影：松本和幸

北浦和公園内にある美術館。格子を基調とした建物は、建築家・黒川紀章氏によるデザインです。埼玉ゆかりの作家のほか、国内外の近現代美術作品を多数収蔵しています。

さきたま史跡の博物館



さきたま古墳公園内にある博物館です。国宝の指定を受けている「金錯銘鉄剣」や形象埴輪など、様々な古墳出土品を展示しています。※令和6年3月31日まで工事休館中。4月リニューアルオープン予定。

鉄道博物館



画像提供：鉄道博物館

国内最大級の鉄道ミュージアム。実物車両を当時の情景を再現して展示しているほか、実物や模型を使っでの体験学習も。鉄道を身近に感じることができます。

角川武蔵野ミュージアム



© 角川武蔵野ミュージアム

ところざわサクラタウン内にある図書館、美術館、博物館、アニメミュージアムが融合した画期的な文化複合施設。約2万枚の花崗岩で覆った石の建築も印象的です。

埼玉県立川の博物館



荒川を中心とした埼玉の川や水と人々の暮らしとの関わりをテーマとし、誰でも水に親しみながら憩い、楽しみながら学べる参加体験型の博物館です。

Living

埼玉に住む

1 住宅あたりの延べ面積が東京都より広い！

都内と比べて住居費が安く抑えられる上、大きい家に住むことができます。

86.52㎡ > 65.18㎡



埼玉県

東京都

1 住宅あたりの延べ面積

(出典：総務省 平成30年住宅・土地統計調査)

空き家バンクとは？



空き家バンクは、空き家を売りたい・貸したい人と空き家を買いたい・借りたい人をつなぐ制度です。空き家をお探しのかたは、下記ホームページをチェックしてみてください。安い物件も見つかるかも？

住まいの相談は「住むなら埼玉！ 応援パートナー」へ！



「住むなら埼玉！応援パートナー」は、住み替えに関する相談対応や埼玉県の住宅施策のPRにより、埼玉県での物件探しや住み替えを検討している方をサポートしています。



Festival

伝統と歴史のある地域のお祭り

地域に根ざした伝統的なお祭りが盛んな埼玉県。県を代表するお祭りをご紹介します。



秩父市

秩父夜祭
毎年12月2日・3日

300年以上の歴史を誇る秩父神社の例大祭。日本三大曳山祭と呼ばれ、国の重要有形・無形民俗文化財にもなっている由緒あるお祭りです。6基の巨大な山車には伝統的な工芸技術が用いられており華やかで豪華な飾り付けが特徴。その山車を力いっぱい曳き廻す様子が一番の見どころです。



川越市

川越まつり
毎年10月第3日曜日とその前日

370年以上の歴史を持つ都市型祭礼。「川越氷川祭の山車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されユネスコ無形文化遺産にも登録。蔵造りの町並みを中心に、町中を曳行する絢爛豪華な山車は迫力満点。山車と山車がすれ違う時にお囃子や踊りを披露し合う「曳っかわせ」で盛り上がりは最高潮を迎えます。



熊谷市

熊谷うちわ祭
毎年7月中旬頃

関東一の祇園祭。祭り中に各店が疫病除けを祈願し赤飯を振る舞っていたものが、後に赤飯に代わり「うちわ」を配り評判になったことが由来。人形を乗せた豪華な山車・屋台が市街地を練り歩きます。最終日は山車と屋台がお祭り広場に集まり、お囃子を打ち鳴らす「曳っ合わせ叩き合い」が見どころ。



久喜市

久喜提燈祭り「天王様」
毎年7月12日・18日

旧久喜町の鎮守 八雲神社の祭礼。7町内から7台の山車が繰り出され、昼間は神話などから題材をとった人物の人形を山車の上に飾り町内を曳き回します。夜は人形を取り外し、山車の四面に約500個の提燈を飾りつけた提燈山車に早変わり。幻想的な提燈山車が街を巡行する様は圧巻です。



朝霞市

朝霞市民まつり「彩夏祭」
毎年8月上旬頃

本州最古のよさこい鳴り踊りの祭典「関八州よさこいフェスタ」と「打ち上げ花火」が2大メインイベント。関八州よさこいフェスタは、毎年多くのチームが集まり、踊り子たちが華麗な演舞を披露します。打ち上げ花火は市街地から打ち上がり、祭りを盛り上げます。



越谷市

南越谷阿波踊り
毎年8月下旬頃

本場徳島、東京高円寺と並ぶ「日本三大阿波踊り」といわれています。踊り手たちが列になって通りを進む「流し踊り」、ホールの舞台を使って踊りを披露する「舞台踊り」、独自のフォーメーションや鳴り物で個性を表現する「組踊り」「輪踊り」など、多彩でパワフルな阿波踊りを楽しめます。

Work

ニア東京で自分らしく働く

東京への交通の便が良く、自然豊かな住まいでテレワークもできる埼玉県。様々な形で自分らしい働き方ができます。ここでは一部をご紹介します。



南部地域在住

都内近くに住んで通勤・通学

都内の職場まで30分で通えてとても便利です。そのうえ家賃は2割くらい安い！



利根地域在住

週1日は都内へ出勤 その他の日はテレワーク

週に一度の出社なので通勤時間はあまり負担になりません。住みやすさ重視で住まいを決めました！



北部地域在住

新幹線で都内へらくらく通勤

新幹線を利用して快適に通勤できます。自治体からの補助金もあり、交通費も安く抑えられます！



秩父地域在住

埼玉と都内で2拠点生活

平日は都内で働き、休日は埼玉で自然に触れる。都内に近いからこそできる贅沢な暮らしです。

もっと知ってほしい！ 埼玉県ってこんなところ

埼玉県の名物グルメや特産品、スポーツ、遊び場スポットなど、自慢のあれこれをご紹介します。



Foods

日本酒

県内各地

意外なことに清酒出荷量が常に上位にランクインするほどの酒どころでもあります。県内には32の蔵元があります。



Foods

お茶

入間市

狭山市

所沢市

ほか

狭山丘陵地域での栽培が盛ん。茶畑の中でお茶を楽しめる茶畑テラス「茶の輪」(入間市)は注目スポットです。



Sport

ラグビー

熊谷市

熊谷市を本拠地として活躍する「埼玉パナソニックワイルドナイツ」。これまでリーグ優勝5回をはじめ、数多くのタイトルを獲得している実力派チームです。



Foods

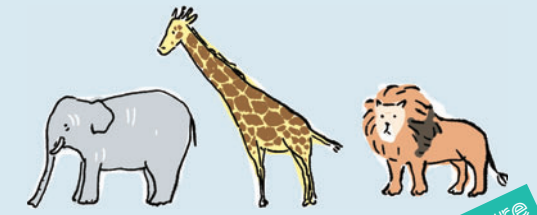
クラフトビール

所沢市

川越市

ほか

所沢ビール、COEDOブルワリー、氷川ブルワリーなど個性豊かなブルワリーがたくさんそろっています。



Leisure

東武動物公園

宮代町

遊園地、動物園が融合したハイブリッドレジャーランド。動物は約120種おり、動物たちと触れ合えるイベントなども充実。冬はイルミネーションスポットとしても有名です。



Leisure

ムーミンバレーパーク

飯能市

ムーミン一家とその仲間たち、そして新しい発見に出会えるテーマパーク。ムーミン一家が暮らす「ムーミン屋敷」や、ムーミンの物語を体感できるアトラクションなど一日楽しめるスポット。



Foods

うどん

県内各地

埼玉県には地域に根付いた特色あるうどんが数多くあり、その多様性はまさに「うどん共和国」！伝統的な手打ちうどんから、地元で愛されるB級グルメまで、バラエティ豊か。

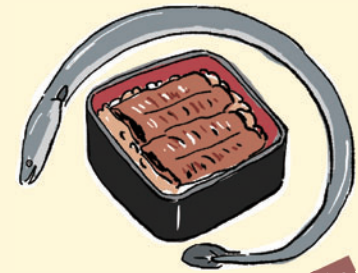


Sport

野球

所沢市

1979年より埼玉県所沢市を本拠地とするプロ野球球団「埼玉西武ライオンズ」。同市にあるベルーナドームを本拠地としています。



Foods

うなぎ

さいたま市

川越市

埼玉には川が多く、かつてはうなぎが獲れていたことからうなぎの名店が多いことで知られています。



Sport

サッカー

さいたま市

ほか

熱狂的なサポーターを持つ2つのJリーグチームといえば「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」です。WEリーグクラブも3つあります。



Leisure

しらこぼと水上公園

越谷市

川越水上公園

川越市

加須はなさき水上公園

加須市

埼玉の遊べる県営水上公園。昭和40年代「海なし県の埼玉にも『海』を」という、水に親しむことのできる施設を望む声が高まり開設。子供から大人まで多くの人が夏のプールを楽しみます。



Sport

バスケットボール

さいたま市

所沢市

越谷市

さいたま市と所沢市に本拠地を置く「さいたまブロンコス」と、越谷市に本拠地を置く「越谷アルファーズ」はBリーグ所属のプロバスケットボールチームです。

埼玉を知る

日々にゆとりを。 私たちが住みたい「このまち」

都内から埼玉に移り住み、家族と穏やかな毎日を過ごす。今回は埼玉に移住した3組のご家族取材し、普段どのように生活しているのか伺いました。いずれのご家族も、豊かな自然と便利な生活環境が両立できる埼玉の暮らしに満足された様子で、とても充実した毎日を送っているようです。



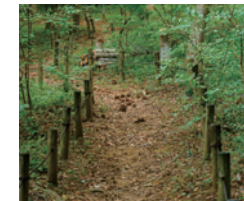
日々にゆとりを。私たちが住みたい「このまち」

夫婦の思い出のまちで 子どもをのびのびと 育てる

緑豊かな自然と、町に住む人たちが営む多くの個人店が見られる宮代町。都内から移住しここで暮らす菊地さんご夫妻に、この町での暮らしやすさを聞きました。家族3人でいろいろな所へ遊びに行くそうですよ。

菊地純平さん
沙耶さん
風太くん

宮代町



散歩に出掛けて線路を走る電車を眺めたり、何気ない日常の風景が、菊地さんファミリーにとってかけがえのない時間です。



家の近所のきりかぶ公園にはたくさんのお友だちがやってきます。子育てをする親同士のコミュニケーション広場ですね。

子育てしやすい環境を求めて 移住することを選択

宮代町に移り住む前は都内で暮らしていた菊地さんファミリー。風太くんが1歳になった頃、今後の子育てを考えて新しい住まいを探し始めました。当初は都内も検討していましたが、土地の狭さや道路との距離の近さなど、小さい子どもと一緒に暮らす生活がイメージしづらかったことや、不動産の価格の面でなかなか決められずいたと言います。しかし、コロナ禍によってリモートワークが推奨され、「週半分程度の出社であれば通勤時間が1時間半になってもいいかなと思ひ、住まいを探すエリアを広げることになりました」と純平さん。そこで純平さんの地元でもある埼玉県が候補に挙がり、最も魅力を感じた宮代町に移住することを決めました。



広い敷地内を走り回ったらちょっと一休み。子どもが元気いっぱい遊べる環境は、菊地さんご夫婦にとってかけがえのないものです。



穏やかな暮らしと、 そこに住む人たちとの出会い

夫婦2人の思い出の場所は、今では家族3人にとっての憩いの場所に変わりました。

菊地さんご夫婦は共に建築関係の仕事をしており、宮代町には2人が好きな象設計集団が設計した「コミュニティセンター進修館」や「宮代町立笠原小学校」があります。お付き合いを始めた頃、「進修館」で開催されたイベントへ一緒に出掛けたことから、2人にとって宮代町は思い出のある町でした。そんな宮代町へ移住する決め手となったのは、町に大らかさを感じたこと。「駅前を開発するにあたり、普通なら、高層の分譲マンションや大規模な商業施設が建ってもおかしくありません。でもこの町がずっと広い空を大切にしてきたことを尊重し、いくつもの企業や町が議論を重ね今の形を整備をしたそうです。そんな、町の大らかな姿勢や想いに惹かれて移住することを決めました」と純平さんは話します。沙耶さんも、都内で生活していた頃は、動き回りた盛りの風太くんに「それはしないで」

「そっちに行かないで」と、否定的な言葉をかけてしまいがちなことにモヤモヤしていたそうです。「宮代町に土地を見に行った時に初めて息子を進修館に連れて行きました。何も気にせずにひたすら走り回っている姿を見て、“住むならこの町だ”と確信しました」と振り返ります。

現在ご一家は沙耶さんが設計した家で暮らしています。純平さんは週の半分は都内に出社し、残りの半分はリモートワーク。沙耶さんは自宅で仕事をして、午後には風太くんのお迎えに行き、その後一緒に遊んで夕飯の準備をするという生活を送っています。そんな中、町との関わりも日常生活を彩る一つの要素になっています。「週末は、町が主催する町民祭などのイベントや個人店の方が主催するマルシェがよく開かれています。子ども向けの企画を用意してくれることが多いので、家族でよく出掛けます。



1. セレクト横丁「ROCCO (ロッコ)」は、カフェや日替わりランチなどを提供する個性豊かな店舗が立ち並んでいます。
2. 「地元の人たちによる、地元のための、おいしく楽しい場所」がROCCOのコンセプト。いつも多くの人で賑わっています。
3. 農をテーマとした施設「新しい村」。新鮮野菜の直売所やカフェなどを備えており、休日には農業体験やイベントも開催。森のようちえんで訪れるフィールドとしても使われています。
4. 家族で過ごす時間が増え、今の生活にとても満足している菊地さんファミリー。風太くんの成長も楽しみです。

顔馴染みの人たちに会えたり、交流ができるのがとても楽しいです」と、家族で宮代町の生活を楽しんでいる様子。

近所の方々とのお付き合いもちょうどいい距離感だそう。新鮮な野菜をお裾分けしてもらったり、風太くんが裸足で駆け回ったり自転車走っている姿をみつけては「いいね！ 元気だね！」と声をかけてくれる人もいます。町の人たちが子どもを温かい目で見守ってくれていることを、純平さんも沙耶さんも嬉しく感じています。現在、野外活動保育に力を入れている、「みやしろ森のようちえん」へ通う風太くん。「体験入園の時に自然の中でのびのびと遊ぶ息子の姿がとても楽しそうでした。スタッフのみなさんはさまざまな経験をされた方が多く、子どもを信頼して向き合う姿に共感し、入園を決めました」と沙耶さん。子どもらしさを引き出してくれる

自然の偉大さと町の人々の温かさを直に感じ、移住して良かったと改めて実感したそうです。「宮代町は人が少なすぎず多すぎない、農村と郊外の間のような心地いい環境」と純平さんは言います。そんな環境の変化は、自身の心のコンディションにも良い変化をもたらしてくれています。

家族みんなが充実した日々を過ごせること、そして安心して子育てに専念できること。宮代町への移住は、菊地さんファミリーにとって理想の暮らしを叶えてくれました。



菊地さんの
インタビュー動画は
こちらから！



歩くたびに小さな発見がある 歴史あるまちに 暮らす楽しみ。

古くからの伝統や歴史ある建造物が今も残る川越。
ふとしたきっかけでこの街の存在を知り、
すぐに移住を決めたと話す大治さん。仕事で県外へ出る以外は
常に川越にいるというほど、
まちの雰囲気を気に入っているそうです。

大治将典さん
幸子さん
一心くん

川越市



作品をデザインする際は最初に図面を起こし、
その後3Dプリンターを使い模型を作ります。
写真は川越氷川神社のベンチの模型。



自宅兼事務所で仕事をする大治さん。何度も修正を重ねながら、満足いくデザインに仕上げ
ていきます。

子どもの成長をきっかけに 移住先を探す

東京で暮らし、日本の手工業品をデザインするプロダクトデザイナーとして活動していた大治さん。お子さんが小学校に上がるタイミングを見計らって、自然が豊かで歴史のある街に移り住みたいと引っ越し先を探していました。

当時、大治さんは自身のデザインした栓抜きでビールを開けて飲むイベントを企画していて、そのイベントで飲むビールを探していたところ川越のコエドビールと出会います。同時にこの時初めて川越という地域の存在を知りました。「コエドブルワリーの社長さんと知り合って工場を訪れた時に、川越の街を案内してもらいました。その時に歴史の残る街並みや自然豊かな風景にとっても感動しました」と大



実際に川越氷川神社に置かれている、大治さんがデザインしたベンチ。素材には倒れてしまった御神木が使われています。



地域に住む人たちの 繋がり と 街の歴史

夏になるとお子さんの一心くんと虫取りを楽しみます。木々の生い茂る自宅の庭は季節の変化によって様々な顔を見せます。

治さん。その後はすぐに移住の準備を進めて、イベントの翌年に川越へ引っ越しました。

実際に移住してみるととても住み心地が良く、生活に必要なものは徒歩圏内で何でも入手できるので、車を持っていなくても何不自由なく生活できたそうです。また、川越はJR、東武鉄道、西武鉄道の3つの鉄道が利用できるため、都内など県外へ出掛ける際もとても便利な場所だと話します。「私は仕事で月に2、3回ほど北陸に出張しますが、新幹線の駅がある大宮まで約30分、そこから新幹線で1時間45分ほどで現地に到着するので、以前に比べてとても移動が楽になりました」。

しかし、川越の街がお気に入りの大治さんは、仕事以外ではほとんど県外へ出掛けることはありません。「川越は歩いているだけでもとても楽しい場所です。私は街を眺めながら散歩することが好きで、

休日になると川越の風景に溶け込むいろいろな建物を見ながら、縦横に走る狭い路地を散策しています。移住した当初は、どこかに良い空き家がないかなと探しながら散歩をしたこともありましたが、移住した当初は家族で賃貸マンションに住んでいましたが、今では散歩の甲斐もあり、空き家を借りて事務所兼自宅で暮らしています。庭で家庭菜園をしながら、お子さんと昆虫を採ったり家族や友人とバーベキューをしたり、大治さんは川越での穏やかな生活を楽しんでいます。

移住してきた当初は知り合いがいなかったため、不安もあったと大治さんは話します。しかしお子さんが通う小学校のPTA活動を通じて、いろいろな人とコミュニケーションを取る機会が増えていきました。「川越で暮らして12年。これまで川越氷川神社や地元の企業の方々と仕事をする機会もありました。



1. お気に入りの喫茶店でコーヒーをいただく至福の時間。川越に移り住んで12年。もうすっかり常連に。
2. 川越の街を歩いていると日々色々な発見があり、それは大治さんにとってこの街で暮らす楽しみの1つ。
3. 仕事を終えると家族と一緒にリビングで過ごします。周囲には自然が広がり、歴史や古くからの伝統を残すこの場所は、大治さんが考える理想の住処です。

私は自分の仕事が好きで、本業のデザインを通じて地域貢献できれば嬉しいです」と、今では私生活でも仕事面でも知り合いが増え、時には川越氷川神社の宮司と2人で建物のリフォーム作業をしたこともあったと、以前の出来事を振り返る大治さん。

また、大治さんは仕事で地方を巡る中で数々の歴史的建造物や昔ながらの風景が残る場所を見てきました。「川越は、地元の人たちが協力して“小江戸”と呼ばれる素晴らしい風景を残してきたからこそ、これほど愛しているんだろうなと感じます」と大治さん。人と人との繋がりによって今に残る街の風景と、そこに暮らす人々。大治さんもすでにその中の1人であり、川越という地域に馴染んで日々の生活を送っています。

最後に埼玉県の魅力聞いてみると、「埼玉県は

東京に行くためのコロニーではなく、埼玉県自体が面白い場所だということです。川越に住んでいると感じるのですが、例えばスーパーに行った時に川越産の野菜だけを置いているコーナーがあるんです。農家の皆さんがとても元気で、だから農産物も美味しい。程良い田舎感がありつつ、街も発展しているので都会感もあります。また、私のように子どもがいる家族は、自然豊かな環境で子育てができるので、埼玉はとても暮らしやすい場所だと思います」と話してくれました。



大治さんの
インタビュー動画は
こちらから！

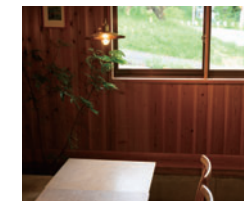


「理想の暮らし」が もっと進化するまち

首都東京から50km圏内だとは思えないほど豊かな自然が広がる越生町。東京からこの町に移り住み、地産地消をコンセプトにした料理やスイーツを提供するカフェをオープンしたご夫婦がいます。越生町のゆったりとした空気感と大自然に魅せられて移住を決めたという2人に、ここに住まうまでの経緯と現在の暮らしについてお話を伺いました。

浅見敦さん
洋子さん
樹くん

越生町



木の温もりがあふれる店内。大きな窓からは暖かな日差しがたっぷりと注ぎます。2階からは奥武蔵の山々が臨めるなどロケーションも抜群。



名物の「奥武蔵ロールケーキ・結ずロール」は町特産の柚子を使用。爽やかな味わいが広がります。夏は梅バージョンが登場。

カフェオープンを 定住のきっかけに



日高市のロースターから仕入れている焙煎豆をブレンドしたスペシャルティコーヒー。ひとつひとつにこだわりが詰まっています。

奥武蔵ののどかな山間に佇む「オクムサ・マルシェ」。このカフェを営む浅見さんご夫婦が、夫・敦さんの生まれ故郷である越生町にUターンしてきたのは2016年のこと。きっかけは妻・洋子さんの言葉でした。「結婚後に私の実家がある越生を訪れる度に、妻は“この町ってとても素敵なところだね！”って言うんです。この景色は私にとって当たり前でしたが、妻の言葉に越生って魅力的な町なんだとハッと気付かされました」と、敦さんは振り返ります。故郷の良さを再認識し「いつか戻りたい」が「早く戻りたい」へ。そこで、もともとカフェが好きだった2人は、自然豊かな越生町でカフェを開き移住の足がかりにすることに。親戚が所有する納屋を改装



まち×ヒト、モノ、コト みんなのHUBになるカフェに

夏場は近くの小川で水遊びも。自然の中でのびのびと育つ息子の樹くんは元気いっぱい。こんな風に家族で過ごす時間も増えました。

するなど开店準備を進め、お店がオープンしたのは2014年。当時は2人とも都内で会社勤めをしていたため、カフェの営業日は土日限定。日曜日の営業終了後に東京へ戻るという2つの場所を行き来する生活が始まりました。東京のすぐ隣にある埼玉県だからこそできたこの生活を続けて2年。お店は少しずつ軌道に乗り、満を持しての完全移住となりました。「もちろん不安もありましたが、地域のマルシェやイベントで先輩移住者の方々にお話を聞いたり情報をもらったりして徐々に解消していきました。店がうまくいくかという心配もあったので、二拠点生活から始めて、2年かけてその不安を払拭していったのが良かったのだと思います」と敦さんは話します。

移住後に感じた都会の暮らしとの違いは、生活の中でオンとオフがはっきりしていることです。常に

スイッチが入っていて気が休まらなかった都会とは違い、仕事が終わればスッと電源をオフにできるような感覚は、敦さんの心にゆとりをもたらしてくれました。また、子育て環境にも満足している、と話すのは洋子さんです。「育ち盛りの子どもは声も大きいし動きも激しいんです。だから、ご近所さんへの騒音が気になる環境だったらもっと子育てに苦労していたと思います。この開放的な環境が子どもをのびやかな性格にしてくれたのかもしれない」。東京で生まれ育ち、音を立てないようにと窮屈な幼少期を過ごした自身の経験があるからこそ、息子ののびのびと育つ姿は洋子さんの目に眩しく映ります。越生町の支援制度も子育てをバックアップしてくれました。出産時の支援金や乗用車のチャイルドシート購入助成金、そしてベビーベッドの無料貸し出しまで！必要な時期が終わったら町に返却できる仕



1. 近くに流れる川のせせらぎや虫たちの鳴き声、柔らかなそよ風が心を癒してくれます。豊かな自然は何よりの贅沢かもしれません。
2. 空気がきれいでも水も豊富な越生町。越生梅林が有名で観光シーズンは多くの人で賑わいます。「オクムサ・マルシェ」は観光客にも人気。
3. お子さんを連れてよく遊びに行くスポットは「上谷の大クス」。車で数分で行ける距離にあり、大自然を身近に感じることができます。
4. 浅見敦さんと洋子さん。この町に移り住んで心の余裕ができたそう。子育てにも理想的な環境で「移住して良かった」と話しています。

組みはととてもありがたいものでした。

移住後、町の商工会青年部に所属した敦さんは、この町で事業をしている同世代の仲間と知り合いました。地域貢献活動や町のイベントを通して、自分と同じように頑張っている人たちがいることを知り刺激を受けたといいます。一方、洋子さんは敦さんのご両親のネットワークを入り口として交友関係を育み、現在はお店のお客さんから広がった輪、息子さんが通う幼稚園のママ友の輪、趣味のヨガを通じて繋がった輪と、3つのコミュニティに支えられて充実した日々を送っています。

当初は利便性の面での不安もありましたが、実際に暮らしてみると車があれば何も問題なし。買い物やレジャーなど以前よりも行動範囲が広がりました。また、この辺りは直売所が豊富で、車で少し移動すれば近くで採れた新鮮な野菜や果物が簡単に手に入

ります。身近にある小さな幸せがここでの暮らしをより魅力的なものにしてくれます。これからの目標は、お店を地域に根ざした存在にすることです。「越生町との架け橋のような存在になれたらいいと思っています」と、にこやかに話す敦さん。「越生町の思い出の場所」として町を訪れるきっかけになってもらえたら、それは地域を応援することにも繋がります。無理のないペースで、理想とする生活を作りあげることができた浅見さんご夫婦。この町で家族とお店がこれからどのように成長していくのか、期待に胸が膨らみます。



浅見さんの
インタビュー動画は
こちらから！

埼玉県エリア図鑑

Saitama Area Book



01

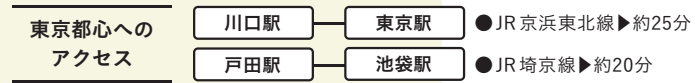
南部地域



荒川を挟んで東京都と接する県の南端に位置し、東京都心から10~20km圏にあります。都心への利便性が抜群であることから多くは住宅地となっており、マンションや大型商業施設が多く立地しています。一方、北部には安行台地が広がっており、主に植木などの畑として利用されています。生産年齢人口の割合が高く、活気のある地域です。

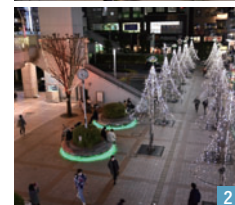


1. 彩湖・道満グリーンパーク (戸田市)
2. 和楽備神社 (蕨市)
3. 川口の街並み (川口市)



02

南西部地域



1. 和光市駅 (和光市)
2. 志木駅前 (志木市)
3. 大型商業施設 (富士見市)

東京都と隣接した県の南端にあり、都心から20~30km圏に位置しています。JRや東武東上線、国道254号などの交通網により利便性がよく、暮らしやすい・子育てしやすい地域です。荒川や新河岸川などの河川が流れ、また、世界農業遺産に認定された武蔵野地域など自然と歴史が身近にあります。商業施設や保育施設との複合型集合住宅が開発されているほか、研究機関や大学、国の機関などが多く立地しています。



03

東部地域



東京都に隣接し、都心から15~40km圏に位置しています。様々な特産品や旧日光街道、豊かな水など地域資源に恵まれるとともに、交通利便性が高く、大型商業施設や新たな市街地の形成などまちづくりも急ピッチで進んでいます。子育て世帯の中心である30代の転入も多いなど、とても暮らしやすい地域です。



1. 越谷レイクタウン〈大相模調節池〉(越谷市)
2. 草加松原(草加市)
3. 三郷ジャンクション(三郷市)

東京都心への
アクセス



05

県央地域



埼玉県の中央部に位置する、伊奈町 (Ina)、北本市 (Kitamoto)、桶川市 (Okegawa)、鴻巣市 (Kounosu)、上尾市 (Ageo) からなる埼玉ミッドエリア。それぞれの頭文字を取ったこの地域の愛称は「IKOKA (いこか)」。都心へのアクセスが良く、自然に恵まれ、住環境にも優れているため、子育て世代の生活満足度が高く、住み替えを考えている人にとって注目のエリアです。



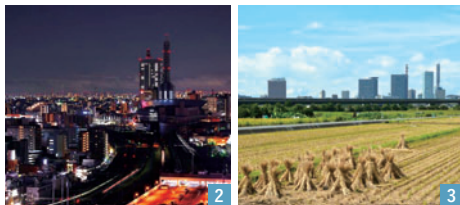
1. &green マーケット(北本市)
2. パラ園(伊奈町)
3. びっくりひな祭り(鴻巣市)

東京都心への
アクセス



04

さいたま地域



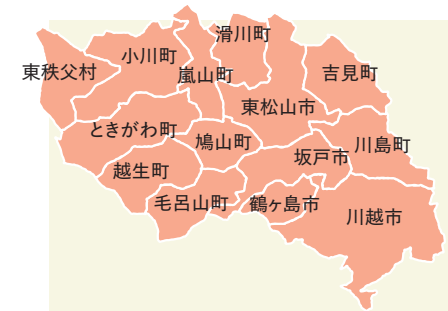
1. さいたま新都心から見た大宮(さいたま市大宮区)
2. さいたま新都心夜景(さいたま市中央区)
3. 見沼たんぼ(さいたま市見沼区)

交通の利便性や居住生活環境の良さと自然が両立し、「住みやすさ」に定評のあるまちです。人口増加数、0~14歳の転入超過数も多く、子育て世帯に選ばれています。盆栽や人形などの伝統・技術が残り、スポーツ・文化芸術の拠点となる施設も多くあるほか、英語教育をはじめとした学校教育にも力を入れています。

東京都心への
アクセス

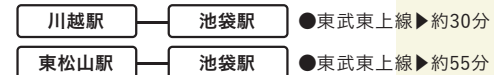


1. 時の鐘(川越市)
2. 日本スリーデーマーチ(東松山市)
3. 旧下里分校(小川町)



都市部から農村・中山間地域まで広範囲に及んでいる変化に富んだ地域であり、東西南北を貫く鉄道路線や高速道路などの広域的な交通網による交通利便性の高さを活かし、多くの企業や大学が立地している地域です。また、川越の蔵造の街並みやユネスコ無形文化遺産に登録された細川紙など魅力ある地域資源に恵まれた、歴史と文化を有する地域でもあります。

東京都心への
アクセス



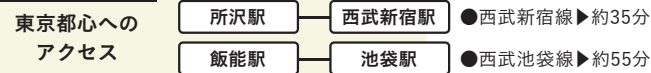
07

西部地域



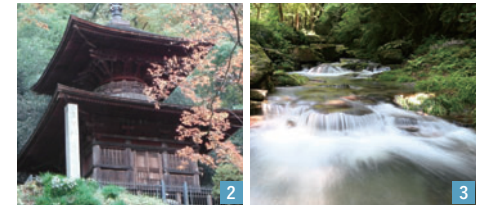
- 1. 金子台の茶畑（入間市）
- 2. 所沢航空記念公園（所沢市）
- 3. 巾着田曼珠沙華公園（日高市）

都心から30～60kmに位置し、東西南北に走る鉄道路線や関越道・圏央道などの広域交通網が形成された地域です。全国的な知名度を誇る「狭山茶」などの特産品があるほか、高麗神社など古い歴史を持つ名所旧跡や北欧をイメージしたテーマパーク、日本最大級のポップカルチャーの発信拠点もあります。



09

北部地域



- 1. マリーゴールドの丘公園（本庄市）
- 2. 金鎖神社・多宝塔（神川町）
- 3. 風布川（寄居町）

歴史的に利根川で接する群馬県との関係が深い地域で、2つの新幹線駅で都心とのアクセスも万全です。花の名所、歴史ある文化史跡、熊谷ラグビー場、駅近のアウトレットなど、観光スポットが盛りだくさん。更に、全国区の人気を誇る早稲田大学本庄高等学院をはじめ、特色ある学校も多数あります。実は、子育てにも最適の教育エリアです。



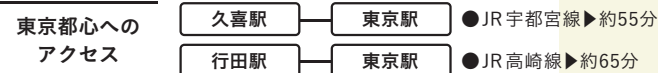
08

利根地域



- 1. 田んぼアート（行田市）
- 2. 杉戸宿（杉戸町）
- 3. コスモスふれあいロード（久喜市）

県名発祥の地といわれる行田市をはじめ、日光街道の宿場町があった久喜市・幸手市・杉戸町など、古くからの歴史を持つ地域です。県内有数の米どころで農業が盛んな一方、高速道路のICが6つあるなど、都心からのアクセスも良好です。東武動物公園・さいたま水族館など、子育て世代に嬉しいテーマパークも充実しています。



10

秩父地域



- 1. あしがくぼの氷柱（横瀬町）
- 2. 秋の岩畳（長瀬町）
- 3. 秩父夜祭（秩父市）

秩父地域は、鉄道で都心から最短路約80分、関越自動車道花園ICからも車で約30分の距離に位置します。東京近郊ながら広大な山々に囲まれ、豊かな自然や優れた景観に恵まれており、秩父夜祭などのお祭りや小鹿野歌舞伎など、独自の文化や風俗が育まれました。“田舎に住みたいけど、都心にも近い方がいい”、そんな方におすすめの地域です。



移住までの“ステップ”

特設サイト



「移住したいけれど、何から始めればよいかわからない……」とお悩みの方向けに、移住の進め方とポイントをご紹介します。

STEP 1 情報収集

埼玉県って
どんな場所なんだろう？



STEP 2 相談

どこに相談すればいいの？

STEP 3 体験

“埼玉暮らしを始めよう！”

支援制度もチェック！▶P39



STEP 1 情報収集

まずは埼玉県を詳しく知ろう！

移住ポータルサイト
「住むなら、埼玉」



埼玉県や市町村の移住に関する情報や多様な魅力を紹介しているポータルサイト。住まい・仕事・子育てに関する支援制度やエリア・市町村ごとの魅力・特徴など、移住を考えるに当たって知りたい様々な情報を掲載しています。

希望に合った市町村を簡単に見つけることができる「63市町村の比較検索」、各市町村から都内へのアクセス時間がひと目でわかる「鉄道アクセスマップ」など便利な機能も満載。埼玉県や市町村の魅力を映像で味わうことができるプロモーション動画アーカイブもおすすめです。

SNSでも埼玉移住に関する
様々な情報をお届けしています！



X (旧 Twitter)



Instagram

移住セミナーやイベントも
覗いてみてください！



セミナー情報



イベント情報



STEP 2 相談

埼玉移住に関する相談ならここ！

埼玉県移住総合相談窓口
「住むなら埼玉」
移住サポートセンター

東京・有楽町にある「ふるさと回帰支援センター」の中に、埼玉県の移住相談ブース「住むなら埼玉」移住サポートセンターが常設されています。

「住むなら埼玉」移住サポートセンターでは、移住に関するご相談にワンストップで対応しています。落ち着いた雰囲気の中、埼玉県への移住を考えている方がじっくり相談できる環境となっていますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



「住むなら埼玉」
移住サポートセンター

県内市町村でも移住相談
を受け付けています。各
市町村の移住相談窓口一
覧はこちらから



移住後の体験ができる！

特設サイト



移住お試し住宅が各地に設けられています！

- ①利用期間
- ②利用料
- ③問合せ先

秩父市お試し居住住宅 秩父杉の家「絆」

都心から特急約80分でアクセスできる好立地の秩父市。「田舎暮らしもしたいけど、都心に近いところがいい」という願いがかなう“ちょうどいい田舎”です！お試し居住で、「観光地」ではない「暮らす場所」としての秩父市を体験してみてください♪



- ①3～7日間
- ②無料（飲食費は利用者負担）
- ③秩父市総合政策課移住相談センター
TEL：0494-26-7946

小鹿野町お試し住宅

県内屈指の大自然が満喫できる小鹿野町の生活を体験できる施設です。移住支援コーディネーターが町の住み心地や魅力をお伝えします。リアルな田舎暮らしが体験できるお試し住宅で、小鹿野町の暮らしやすさを実感してください。



- ①2泊3日～9泊10日
- ②要問合せ
- ③小鹿野町移住相談窓口
TEL：0494-75-5060（平日のみ）
※休日は0494-26-6760

ときがわ町「やまんなか」

東京から約1時間でありながら、水と緑豊かな自然に囲まれているときがわ町。「やまんなか」は、ときがわ町に移住・定住を考えている方が、町内での生活の体験、日常の暮らしを直接感じることができる施設です。



- ①1週間～2カ月
- ②有料（詳細はHPに掲載）
- ③ときがわ町役場 政策財政課
TEL：0493-65-0404

東秩父村移住体験施設 「MuLife」

東秩父村は、埼玉県西部に位置する自然豊かな県内唯一の村です。ユネスコ無形文化遺産の「細川紙」の産地としても知られており、東京から約1時間の立地です。築80年の古民家をリノベーションした施設で、ゆったりとした時間が流れる埼玉県唯一の「村」の生活を体験してみませんか？



- ①1泊2日～14泊15日
- ②有料（詳細はHPに掲載）
- ③東秩父村役場 企画財政課
TEL：0493-82-1254

皆野町お試し居住用住宅 「来てみ～な」

「町の雰囲気を知りたい、暮らしを体験したい」方へ、町内の空き家を改修整備した施設です。スーパーやコンビニ、病院なども近くにあるため安心です。豊かな自然と共存する「みんなの」にご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。



- ①2～7日間（年20日まで）
- ②無料（飲食費は利用者負担）
- ③皆野町役場 産業観光課
TEL：0494-62-1462

埼玉のコワーキングスペースも体験！

テレワーク移住にも最適な埼玉県。コワーキング・サテライトオフィス等をご紹介します。埼玉での自分らしい働き方、実感してみてください。



小川町	コワーキングロビー NESTo	NESToは、築100年の石蔵を改装して生まれたコワーキングロビーです。開放的な空間でゆったり働いたり、情報を集めてまちを散策したり、泊まりでさまざまな出会いを楽しんだり。NESToは、「働く・憩う・集う」が有機的に交わる小さなまちの大きなロビーです。
横瀬町	LivingAnywhere Commons横瀬	LAC横瀬は横瀬駅から徒歩8分、宿泊施設のほか、情報交換スペース、交流スペース、コミュニティスペース、ワークスペースの機能を備え、町のオープン＆フレンドリースペース「Area898」に隣接しています。ビジネスに必要な設備を完備しているLAC横瀬では、二拠点生活・多拠点生活を実現できます。
皆野町	働Co-factory みなLABO	花のあふれる皆野町にあるコワーキングスペース。木工から3Dプリンタまで幅広い種類の機械があり、クリエイティブな空気に包まれたLABOは、新商品の開発にも向いています。施設内にはカフェもあり、コーヒーを飲みながらリラックスして仕事ができます。
皆野町	働Co-living みな subako	皆野町の森の中、綺麗な川沿いにある宿泊施設 subako。客室は「部屋にこもって静かに執筆をする文豪」をイメージした落ち着いた和の雰囲気空間と、鳥の巣箱をイメージしたメゾネットキャビンの空間を用意。コワーキングスペース・シャワー・ランドリー・シェアキッチンも備えています。
小鹿野町	みどりの村おがの 若者センター コワーキングスペース	小鹿野町がみどりの村に整備したテレワークのできるコワーキングスペース。室内には、カウンター席・集中スペース・ミーティングテーブルがあり、景色の良いカウンター席側の窓からは、天気の良い日には遠景に武甲山や秩父連山が望めます。



コワーキングロビー NESTo

こちらチェック！ 支援制度

埼玉県の一部地域へ移住・起業した方向けに、移住支援金や起業支援金を支給しています。また、県内市町村でも様々な支援を行っています。

移住支援金

埼玉県と県内対象市町村が連携し、人口減少が進む地域への移住を促進するため、対象地域の中小企業等に就職した方、対象地域で起業した方等に移住支援金を支給しています。

※移住支援金の受給可否については、あらかじめ対象市町村に必ず確認を行ってください。



起業支援金

人口減少が進む地域におけるデジタル技術を活用した①地域課題の解決を目的とした起業、②Society5.0関連業種の事業承継・第二創業に対して、起業支援金を支給しています。

県内市町村でも様々な制度を用意しています。

例えば…

- 新幹線通勤や着席座席指定券などの通勤に係る補助
- 結婚新生活をスタートする新婚夫婦向けの補助
- 子育て世代のUターンへの補助
- 住宅リフォームへの補助



各市町村の支援制度は、こちらから検索！

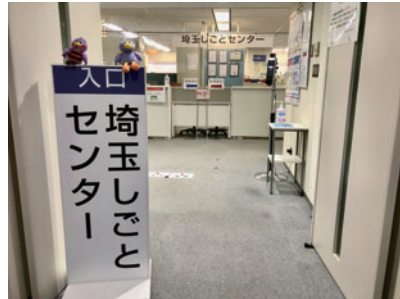
埼玉で働く

都心に近く、様々な仕事がある埼玉県。県では埼玉労働局と連携し、県内での就職に関する情報提供やきめ細やかな就職相談を行っています。また、働きたい女性、働く女性のための支援を行っています。

埼玉しごとセンター



国が運営するハローワークと埼玉県の就職支援サービスが一体となった施設です。相談から職業紹介まで切れ目のない支援を行っています。学生・若者・シニアなど人生のステージに応じて仕事探しのお手伝いができます。就職セミナーや面接会などを開催しています。



住所：さいたま市南区沼影 1-10-1 ラムザタワー 3F
TEL：048-826-5601（代表）
アクセス：JR 埼京線・武蔵野線武蔵浦和駅西口徒歩3分

埼玉県女性キャリアセンター



働くことを希望しながら子育てとの両立や職業上のブランクにお悩みの女性など、働く女性を対象に、面談相談、電話相談、各種セミナー、職場体験、ハローワーク求人情報の提供、職業紹介、キャリアアップ支援などを実施し、女性の就業を総合的に支援しています。



住所：さいたま市中央区新都心2-2 ホテルプリランテ武蔵野 4F
TEL：048-601-5810
アクセス：JRさいたま新都心駅徒歩5分／JR北与野駅徒歩6分

埼玉県企業ガイド



埼玉県内にある様々な企業の採用関連情報などを知りたいとき、このガイドを活用してはいかがでしょうか。奨学金返還を支援する企業の情報など、就職・転職先を検討する際に役立つ情報を掲載しています。埼玉への移住とあわせて新しい働き口をお探しの方は、ぜひご覧ください。



埼玉で起業

埼玉県出身の実業家で日本近代経済社会の父と言われる渋沢栄一翁は、日本の近代化のため自ら約500社もの企業の創立・育成に努めました。埼玉県は、地域経済の活性化を図るため、「創業するなら埼玉」を合言葉に渋沢栄一翁の志を受け継ぐ新たな起業家を支援します。

創業・ベンチャー支援センター埼玉



これから創業をお考えの方、創業後の経営にお悩みの方、新たな事業展開を目指す事業主の皆様をサポートします。経験豊富なアドバイザーが無料で相談に応じるほか、創業に役立つ各種セミナーを開催しています。地域おこし協力隊として移住した方、将来起業を考えている方もご利用できます。

住所：さいたま市中央区上落合 2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ 3F
TEL：048-711-2222
アクセス：JR 埼京線 北与野駅下車 徒歩1分、
JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線
さいたま新都心駅下車 徒歩8分

こんな支援を行っています

専門家による無料相談

創業セミナー

起業支援金

移住起業者の声を聞いてみよう

大好きな故郷秩父で カフェ&プライベート キャンプ場を開業

KEiNA CHICHIBU
今山実穂さん



2022年4月に秩父市田村町でカフェとプライベートキャンプ場の複合施設「KEiNA CHICHIBU」を開業しました。都内で会社員として働いていましたが、コロナ禍になり女性としての生き方を考える中で起業の道を選択しました。何をしようかと考えた時、大好きな生まれ故郷の秩父で何かできないだろうかとの思いが生まれ、父が所有する広大な不耕作地を有効活用できるキャンプ場を開くことにしました。自家栽培の新鮮な野菜をふんだんに使った料理と、営業は土日のみで利用は限定1組という完全プライベート空間でキャンプが楽しめるとい

う点が特長です。現在私は家族と共に都内と秩父を行き来する2拠点生活をしています。起業するにあたり、まず「創業・ベンチャー支援センター埼玉」の「女性起業セミナー」に参加しました。そこでは経営に関するさまざまな知識や開業までのステップなどを細かくご教示いただきました。また埼玉県起業支援金制度も活用しました。初めてのことばかりで悩むことも多い中、各分野のスペシャリストに親身になって相談に乗ってもらえたのは非常に心強かったです。起業を検討されている方にはぜひおすすめしたいです。

埼玉ではじめる農ある暮らし

憧れていた農業をはじめ、農産物を加工して商品化する、市民農園で野菜を育てる、地域の人々や農家と仲良くなって地域に根ざした暮らしをする都心に近い埼玉だからこそできる「農ある暮らし」があります。

考える

どんな農業をしたい？

- まずは相談窓口で話を聞いて現状を知ろう
- 次に具体的な相談をしよう



STEP1



学ぶ

仕事にするなら知識と技術が必要

埼玉県農業大学校や埼玉県農林公社の就農予備校に入学して学ぶか、指導的農家で研修を受けるなどの方法があります。その後、実際に就農する時には、埼玉独自の制度「明日の農業担い手育成塾」を活用し、指導者から実地指導を受けることもできます。(所定の研修、教育実績などの条件を満たした場合)

STEP2



未来図をつくる

営農計画づくり

- どんな作物を作るのか
- 農地の規模と適する場所探し
- 資金確保の計画
- 所得の目標の設定 など

STEP3

準備する

STEP3の計画をもとに具体的な用意

- 農地を見つける
- 農機具をそろえる
- 住宅を見つける
- 指導者を見つける

STEP4

農業のはじまりは

ここから

慣れてきたら、農作物の生産に加えて、加工や流通・販売で農業経営を広げる選択肢もあります。それが6次産業化です。



STEP5



就農者の声を聞いてみよう

就農で人生が充実 農家暮らしを体験できる 民宿も運営

農家民宿「楽屋」オーナー
金子勝彦さん



大学卒業後、サラリーマン生活や調理師として海外で働くなどの経験を経て、自然と共に暮らしたいという思いから2015年にときわ町で就農しました。人とより深く関わりたいという思いがあったため、その後2016年に農業体験ができる農家民宿「楽屋」を開業しました。「楽屋」は“無理のない自給的暮らしをシェアする場所”をコンセプトにしています。お客様への食事は私が畑で作った食材で調理して提供し、年末には自家製の餅米で餅つきなどもしています。このような自給的生活を体験していただくことで、普段の便利な生活への感謝の気持ちが生まれ、人生が少し豊かなものになるのではないかと思います。お客様は都市部からの移住を検討されている方も多く、私もその真剣な思いに応えられるよう夜通しで話し込むこともあります。その成果かは分かりませんが、これまでに10組ほどのお客様が各地へ移住されています。

現在は、年間を通して春、夏、冬野菜と米、麦、大豆を作っています。民宿は週に1度土曜日だけオープンし限定1組のお客様をお迎えしています。宿泊だけでなく、農業に参加してもらって援農体験や発酵食品作り体験を行うなど、リアルな農業の大変さや自給的生活の楽しさをお客様にも体験してもらっています。就農を検討しているなら、各市町村の行政窓口への相談はもちろん、自分で調べて援農体験に足を運び、先輩農業従事者や就農体験者の話を聞いたり、気になる情報をリサーチするなど主体的に行動すると良いと思います。私も現在に至るまで学びと試行錯誤の連続でした。

農業はたしかに大変な仕事ですが、とてもやりがいのある素晴らしい職業だと実感しています。自分がやりたかった農業に携わり、自給自足的な生活をし、それを人とシェアできる喜びを噛み締める毎日です。

就農相談窓口の情報

埼玉県農林部農業支援課

新しく農業を始めようと思っている方や農業資金などのご相談、農業の技術等のご相談に対応します。



埼玉県農業大学校

新たに農業を経営したいと考えている方が、農業経営に必要な栽培技術や知識等を身につけることのできる専門教育機関です。



公益社団法人埼玉県農林公社

就農希望者への就農相談、無料職業紹介、就農希望地での実践研修を行い円滑な就農を支援しています。



各埼玉県農林振興センター

就農、農業に関する制度や補助金等のご相談に対応します。農林部の総合的地域機関として県内8か所に設置されています。

埼玉の農ある暮らしの情報

グリーン・ツーリズム
埼玉



SAITAMAわっしょい



埼玉ではじめる
農ある暮らしサイト



地域おこし協力隊ってなんだろう？

「自分の力で地域社会に貢献したい」「理想の暮らしや生き方を見つけたい」。今、都市に住む人たちが自身の才能や能力を活かし、地域おこし協力隊として移住しています。協力隊の斬新な視点で、行政ではできない柔軟な地域おこしに取り組んでいます。

地域おこし協力隊とは？

都市部から人口減少が進む地域に移住する意欲ある方を「地域おこし協力隊」に任命し、地域を活性化していく制度です。都市地域から人口減少が進む地域などに移住し、1~3年間地方自治体からの委嘱を受け、地域ブランドや地場産品の開発・PRや、農林業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

埼玉県オリジナル制度 埼玉版地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の制度が活用できる市町村は国の要件で決められていますが、埼玉県では国の制度対象外の一部市町村でも活用できるように「埼玉版地域おこし協力隊」として制度を拡大しています。

情報収集・応募

募集は市町村で行っています。地域おこし協力隊のミッションは多種多様。気になる募集情報をチェックしてみましょう。

ミッションは様々！

特産品開発・PR、農林業従事、移住交流促進、空き家・空き店舗対策、地域コミュニティ活動、伝統産業の継承、教育学習支援……
活動内容を定めないフリーミッション型の市町村も！



任期終了後

任期終了後は、地域おこし協力隊での経験を活かして、地元企業に就業したり起業したりするなど、多方面で活躍しています。

体験

「おためし地域おこし協力隊」や「地域おこし協力隊インターン」などの短期間体験ができる制度を用意している市町村もあります。

活動

活動地域に移住し、地元の方々と協力しながらミッション達成に向けて活動。活動期間は概ね1~3年間。

まちづくりの面白さを実感し 地元川島町の地域おこし協力隊へ



一般社団法人さまちか
川島町地域おこし協力隊
小西緩奈さん

Q 地域おこし協力隊に 応募したきっかけは？

もともとまちづくりに関わる企業で働いていました。仕事で、日本のとある都市のホテルの立ち上げに携わり、地元の方々に関わる中で、人と人を結ぶまちづくりの面白さを実感しました。私は川島町出身なのですが、Uターンして地元のまちづくりに携わるのも面白そうだなと思ったことがきっかけです。

Q 活動内容を教えてください

町の活性化に繋がる企画・運営を通して、川島町の魅力を町の内外に向けて発信することです。例えば、川島町は米どころとして有名なのですが、年々お米の消費量は減少しています。そこで近隣の酒蔵とタイアップし、川島産のお米「川越藩のお蔵米」の甘酒を開発しました。また、新ブランド米「かわじま町の天領米」をポン菓子にして、甘酒と共にイベントで販売しています。子供にも手に取ってもらえますし、お米のPRにもなります。陶芸工房とコラボし、器から自分で作って地元B級グルメの「すったて」を味わうという体験型企画も行い、好評でした。

Q 隊員になりたい方、移住を検討している方へのメッセージ

協力隊としてのミッションは非常にチャレンジのしがいがありました。自分のアイデアで地元の人や企業を巻き込んで良い形に昇華できるというのは面白いものです。人脈も広がるので自分の新たな道が見つかるかもしれません。企画が好きな方、人と関わることが好きな方にとって活躍できる場だと思います。

秩父市に惹かれ隊員に応募 移住検討者にもってこいの制度



秩父市総合政策部
総合政策課 移住相談センター
西村岳登さん

Q 地域おこし協力隊に 応募したきっかけは？

初めて秩父を訪れたのは高校生の時です。視聴したアニメに感銘を受け、実家のある東京都葛飾区から自転車をこいで一日かけて秩父へやってきました。そこから大好きなまちになり、度々観光で訪れる中で秩父の人々の温かさに触れ、次第にここに住みたい、このまちを盛り上げたい、と思うようになり応募しました。

Q 活動内容を教えてください

私の活動内容は「移住定住促進」の仕事です。主な活動内容は3つあり、1つ目は移住相談業務です。移住支援金や、空き家バンクの受付、現地を案内するガイドも行っています。また、都内開催の移住相談フェアなどにも出展しています。2つ目は移住検討者向けのイベント企画運営です。秩父初心者ツアーや交流イベントなどを開催しました。3つ目は秩父のPRです。秩父をPRする動画や移住者を取り上げた映像の制作をしています。

Q 隊員になりたい方、移住を検討している方へのメッセージ

移住検討者の方の相談で最も多いのは仕事や住まいに関してです。全く知らない土地に住みたいと思っても、そのような点でハードルは高くなってしまいます。しかし協力隊になることで仕事や住まいの問題はクリアできます。さらに、協力隊としての立場が保証されていることで町の人々に信頼してもらえるので、町に早く溶け込むこともできます。私も協力隊の活動を通して多くの人との繋がりができ、人生が変わるような経験をたくさんしました。将来的に移住を検討している方は、地域おこし協力隊制度を利用してじっくりと考えていただくのも良いと思います。